

令和 5 年 6 月 2 日現在

機関番号：84604

研究種目：基盤研究(S)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H05221

研究課題名（和文）木簡等の研究資源オープンデータ化を通じた参加誘発型研究スキーム確立による知の展開

研究課題名（英文）Development of Integrated Knowledge through Establishment of an Interactive Research Scheme based on the Open-Data of Research Resources for Wooden Tablets and Related Topics

研究代表者

馬場 基 (BABA, HAJIME)

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・都城発掘調査部・室長

研究者番号：70332195

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 96,100,000円

研究成果の概要（和文）：歴史的な文字連携検索標準仕様を策定し、国際的な歴史的な文字連携検索体制を実現、ポータルを公開。市民参加型筆順情報取得アプリケーション「ナゾルクン」、深層学習を用いた木簡文字鮮明化システム・文字認識システムを開発・公開。木簡の暗黙知研究資源化システムを開発、データを蓄積。台湾・中央研究院との国際学会、中国社会科学院等と共同での日中韓木簡総合論壇を開催。その他、国際・国内学会等で研究報告を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

IIIFに準拠した標準仕様を技術的内容も含めて策定・公開して対等で開かれた機関間連携による歴史的な文字画像の横断検索体制を確立し、国際的な多機関文字連携検索を実現。今後、さらなる拡大が期待出来る。研究現場の暗黙知の研究資源化や、市民参加型アプリによるデータ蓄積を進め、深層学習の深化を実現。研究の加速が期待される。特に、市民参加型アプリによって、研究作業・成果双方で、先端的研究と市民の連携に成功した。

研究成果の概要（英文）：Formulation of standard specifications for linked historical character retrieval, realization of an international linked historical character retrieval system, and release of a portal. Developed and released "Nazorukun," a citizen-participatory stroke order information acquisition application, and a Mokkan character sharpening system and character recognition system using deep learning. Developed a tacit knowledge research resource system for woodblocks and accumulated data. Held an international academic conference with Academia Sinica in Taiwan, and a CJK Mokkan Synthesis Conference in collaboration with the Chinese Academy of Social Sciences and other institutions. Presented research reports at international and domestic conferences.

研究分野：日本古代史

キーワード：平城宮 平城京 木簡 出土文字資料 オープンデータ化 IIIF 深層学習

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

木簡は、可能性に満ちた資料である。遺跡から出土する「ナマ」の資料であり、歴史学・国語学・国文学等、多様な分野で重要な役割を果たしている。一方、木簡は極めて脆弱で、公開が困難である。そこで、高品質な研究資源化とその公開が強く希求されている。

近年、木簡を巡る研究は、木簡記載内容 (= テキストデータ) の個別的な分析から、木簡のあらゆる要素 (= 形状・素材・図像としての文字の様子・加工等) と多様な関連情報 (= 地名・人名・物品名・出土地点情報・遺跡情報・海外資料等) の連携分析へ、と大きく展開している。

例えば近年、比較研究が困難と思われていた中国古代簡牘と日本古代木簡の相互比較研究が成果を上げ始めているように、従来は関連性が希薄だと思われていた史料群についても、量的に充実した研究資源を背景に検討を進めることで、新たな発見が掘り起こされている。

このように、新たな研究の展開のために質・量の充実した研究資源が求められ、この新しい研究で示された視点が研究資源の質・量の充実をもたらし、さらにこうして提供された研究資源が新しい研究を生み出す、という、大きな知の増大サイクルが期待される状況にあるのである。

この研究状況に対応し、研究資源の「量の拡大」「質の多様化」を加速して研究推進のエンジンとするには、従来の「様々な提供者」が「一方的に提供」するデータベースを越えた手法・考え方が求められている。

また、世界的には、「IIIF」(トリプル・アイ・エフ) という、相互運用性が確保された資源化ルールによって、人文系研究資源の標準化・オープンデータ化を進める動きが急速に強まっている。そこで、この IIIF に準拠しつつデータを整備して、対等で広汎な研究資源連携をはかって研究資源化を加速するとともに、「一方向的な研究資源提供」から「双方向的な研究資源共有」へのパラダイムシフトを引き起こして、研究資源の質的・量的な増大の加速を期すことによって、新たな研究の段階を切り開くことができる、と考えた。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、研究資源のオープンデータ化による参加誘発型スキームの確立を通じて、木簡に関する様々な知を、個別の研究機関・研究者から解放して広く共有することで、研究を大きく展開し、東アジアや世界での木簡・文字資料の研究、特に歴史的文字の研究をリードすることである。具体的には、以下の A) ~ C) の実現によって、目的の達成を期する。

#### A) 木簡研究資源の「量の拡大」

- a 歴史的文字の研究資源化のための IIIF 準拠標準規格の策定
- b 奈文研所有の既存研究資源の IIIF 化によるオープンデータ化
- c IIIF 化を通じた国内外機関の参加・共同による連携体制の構築

#### B) 木簡研究資源の「質の多様化」

- a 参加誘発型スキーム確立に向けたツールの開発
- b 資源化過程の「見える化」による経験知の資源化
- c 歴史的文字に関する注釈データの充実

#### C) 文字資料研究を牽引する新研究の展開

- a ビッグデータ解析手法等の分析手法を導入しての検討
- b 分野・国を超越した研究の惹起と深化・公表

### 3. 研究の方法

A) a 歴史的文字の研究資源化のための IIIF 準拠標準規格の策定 (H30 ~ 31 年度)  
オープンデータ化における機関の役割や基準を整理して提言する。次に、標準規格 = 「IIIF に基づく歴史的文字研究資源情報作成と公開の指針」を公開する。

A) b 奈文研所有の既存研究資源の IIIF 化によるオープンデータ化 (H30 ~ R4 年度)  
「木簡庫」データベースで公開しているデータを、IIIF 化・オープンデータ化して公表する (H31 年度)。研究資源化済み文字数を最終年度までに 20 万点に充実させる。

A) c IIIF 化を通じた国内外機関の参加・共同による連携体制の構築 (H31 ~ R4 年度)  
国内外機関のデータを横断的に検索できるポータルサイトを開発・提供する。日本語版 (~ R2 年度)、中国語他多言語版 (~ R3 年度)。並行して、韓国国立文化財研究所との連携実現を目指す。

B) a 参加誘発型スキーム確立に向けたツールの開発 (H30 ~ R2 年度)  
研究者が、IIIF 準拠の研究資源を活用し、web 上で作業・生成されたアノテーション (= 知) を蓄積・公開・共有できるツール・環境を整える (~ R2 年度)。

B) b 資源化過程の「見える化」による経験知の資源化 (H31 ~ R4 年度)  
木簡の出土から整理・保管・記録・観察等、研究資源化までの作業を整理し (H31 年度)、各作業

中に発生する多様な経験知を直接研究資源化できる体制とツールを導入する（～R4年度）  
B) c 歴史的文字に関する注釈データの充実（H30～R4年度）  
字形に関する観察記録を最終年度までに、14万字分（「木簡庫」データベース公開文字画像の7割以上、文字数の50%以上）を作成・蓄積する。  
C) a ビッグデータ解析手法等の分析手法を導入しての検討（R2～R4年度）  
主として、木簡の文字画像の字形・字体・形状・運筆等に関する特徴の抽出や比較分析を、ビッグデータ解析手法等でおこない、日本の文字文化成立期における文字筆記技術の解明を目指す。  
C) b 分野・国を超越した研究の惹起と深化・公表（H31～R4年度）  
本研究メンバーを中心とした研究会を毎年1回開催。市民向けシンポジウムを開催し（R2年度）  
論文集を刊行（R3年度）。国際シンポジウムを国内（R3年度）・国外（R4年度）計2回開催する。

#### 4. 研究成果

[ 本研究課題による研究成果 ]

##### A) 木簡研究資源の「量の拡大」

「IIIFに基づく歴史的文字研究資源情報と公開の指針」宣言文を連携各機関（奈良文化財研究所・東京大学史料編纂所・国文学研究資料館・国立国語研究所・京都大学人文学研究所・台湾中央研究院歴史語言研究所）と共同で発表し、「オープンデータに関する仕様」（第一版）を策定・公表し（R2年3月）、機関間連携体制の中核を形成した（<https://mojiportal.nabunken.go.jp/ja/?c=about>）。

「IIIFに基づく歴史的文字研究資源情報と公開の指針」に基づく機関連携検索ポータルサイト「史的文字データベース連携システム」を公開し（R3年3月）奈文研・東大史料編纂所・国文研・台湾中央研究院歴史語言研究所の連携検索を実現した（<https://mojiportal.nabunken.go.jp/ja/>）あわせてポータルサイトの多言語化（英語・繁体中国語・簡体中国語・韓国語）も行った。

なお、中国社会科学院歴史研究所簡帛中心、東京国立博物館とも協議を進める等、関連諸機関の参加に向けての交渉・調整も継続的に実施してきている。

「木簡庫」データベースに釈文等の木簡情報のダウンロード機能を付与し、テキストデータのオープンデータ化を実現した（H30年度）（<https://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/>）。画像については「史的文字データベース連携検索システム」公開によって、IIIF化した木簡画像データのオープンデータ化を実現した他、国立文化財機構文化財活用センターと共同で colbase での公開を進めている。

なお、本科研を通じて、木簡の高精細デジタル画像は約15000点を確保した。また、単文字画像については、約215300点を確保した。研究開始時点での文字画像数の目標は20万点であり、この目標を上回るデータを作成することができた。

この際、現在公開中の「木簡庫」データベースで用いているデータと、IIIFデータを相互に変換するツールを開発した（R1）。これによって、従来から「木簡庫」データベースで用いていた文字画像データ10万点をIIIFに変換し、また本科研期間中にIIIFで作成した約11.5万点のデータを「木簡庫」データベースに変換できる体制を整えた。

##### B) 木簡研究資源の「質の多様化」

木簡文字観察記録シートを約15万件作成した。本研究課題の進捗に伴って、観察記録シートの観点が日本木簡に限らず、中国簡牘や韓国木簡にも有効であることが発見された。そこで、対象を日本木簡に限定せず、東アジア各地の木簡を対象にして作業を行い、今後の研究進展に向けた基礎データを拡充した。また市民参加型の研究を実現するためのツールとして市民参加型研究情報蓄積用アプリケーション[ナゾルクン for Academic]と古代文字体験・学習アプリケーション[ナゾルクン for Kids]を開発した。スマートフォンで利用可能なアプリケーションを公開することで、社会一般での広範な利用を促し、研究への市民参加という新たな研究のスタイルを試みた。当初は奈良文化財研究所所蔵木簡の約150文字のみだったが、2023年春に東京大学史料編纂所の電子くずし字データと連携。これまでは奈良時代の木簡のみであったが、鎌倉時代や室町時代などの古文書の文字を追加することで、より広範な時代の文字の運筆情報を集積し比較研究できる体制をつくった。なお、「ナゾルクン」は社会的に高い注目をあつめ、大きく報道された。研究現場の暗黙知の研究資源化として、木簡デジタル記帳システム(MDKS)を開発した。遺跡から出土した木簡整理作業の工程の見直しとデジタル化を進める中で、従来の整理作業のフローでは重複する工程が多く、整理の過程で得られる様々な情報が集約されず、経験知の継承も不安定であることがわかった。そのうち、整理作業の工程の中で特に重視されていた現物観察の所見については、従来は手書きで行っていた。これを記帳と呼ぶ。記帳には、木簡がいつ、どこで出土したのかを示すラベル情報、木簡の大きな外形、木簡の様態（割れや加工など）、文字の芯や運筆情報といった文字に関する観察所見と、観察から得られた所見を元に立てられた仮釈文を記入する。また、同時並行して行われる木簡保管のための情報（バット番号）、木簡管理のための情報（遺物個体番号であるR番号）も合わせて記載し、記帳の作成者と作成日も記録する。さらに、報告書等を作成する過程で新たに得られた知見や、保管時の情報などが追記さ

れることもある。しかし、これらの所見や情報が、記帳以外にも写真台紙や報告書のコピー、あるいは管理用データベースにそれぞれ蓄積され、集約化が図られていないことが大きな問題となった。

こうした現状認識のもと、脆弱遺物である木簡の損耗リスクを低減することも念頭に置きながら、木簡の出土から情報公開までの整理フローを無駄なく、かつ情報と知見の確実な集積を目指し、記帳の工程をデジタル化することを目的として木簡電子記帳システム(以下 MDKS と略す)の開発を行った。MDKS には木簡のデジタル写真を元に、アノテーション機能により木簡の観察所見などを記述し、あわせて木簡の管理情報などもデジタル記録をとれるようなシステムとした。また、経験知の継承のため、誰がいつ記帳を行ったかも記録できるようにした。MDKS の導入より、デジタルで集積された知見をそのまま IIIF 等のオープンデータ形式で相互運用が可能となり、目的にあわせたデータベース利用、公開が可能となるとともに、経験知の共有と継承、管理情報の一元化が図られ、脆弱遺物である木簡のより安定的な保存管理が可能となった。

#### C) 文字資料研究を牽引する新研究の展開

国際学会を2回共催(台湾・中国)し、IIIF 連携の共同研究や、木簡の国際共同研究および成果報告を行った。

国内で開催された学会(国際・国内とも)でも報告した他、研究チーム内での研究会を開催した。国際学会開催は、研究の後半での実施を計画していた。しかしながら、本研究を進める過程で、各機関との連携交渉などを行った際、学会の共催などの呼びかけを受けた。そこで、予定を繰り上げて国際学会の共催を行った。研究期間後半には、対面では主催については海外機関と協議を進め、研究期間内には開催できず、2023年10月に中国で開催することとなっている。オンラインではアメリカプリンストン大学、中国社会科学院で発表をした他、HK 事業団に参加するなどを行った。なお、本研究での交流を契機として、奈良文化財研究所と中国古代史研究所とで共同の議定書を締結した。

また従来で比較的均質だと捉えられがちだった「漢字文化圏」には、多様な「ローカル漢字文化圏」が中国内も含めて共存していること、これらが時代・地域により変化しながら相互に影響を与えていたことを明らかにした。そして、周縁部の特殊な漢字文化とされていた様々な事象も、この「ローカル漢字文化圏」の相互作用の中で捉えられる可能性を指摘した。新しい視点の提示によって、文字文化の相互関係がより具体的・明瞭に把握できる可能性を開く発見までにつながりつつある。オープンデータ化および参加誘発により質・量ともに増大させた歴史的文字のデータを、文字字形と用法の観点から情報学的手法も援用しつつ分析し、10世紀以前の「ローカル」単位の設定と、その中で日本列島の位置づけを検討することが、今後の課題と可能性として展望できるようになった。文字画像検索システム「MOJIZO」に深層学習を導入し従来からのOCR 主要による検索エンジンに加えて、深層学習による文字画像の特徴抽出をベースとした検索システム「AIMOJIZO」へバージョンアップした。更に深層学習を用いて、木簡文字画像の欠損補完モデルと削り屑木簡の自動グループ化を実現した。オープンデータ化した木簡画像および文字画像データを元に、深層学習を用いることで、木簡の研究、文字の研究の加速に大きな役割を果たすシステムの開発に成功した。

一つは、「木簡見取り図自動作成システム」である。木簡の文字画像を自動認識する上で、従来から大きな障害となっていたのが、木目等によるノイズであったが、これについて深層学習を利用して軽減することに成功した。そしてこの技術を元にして、木簡の形状・アウトライン、および墨部分のみを抽出して画像として提示する、「木簡見取り図自動作成システム」の開発に成功した。この技術によって、文字画像の自動認識に資するデータが作成できると共に、迅速な観察記録の作成が可能となった。

もう一つが、深層学習を導入した文字画像検索システム(通称「AIMOJIZO」)である。「木簡見取り図自動作成システム」の技術と連携している他、様々な学習パターンによる認識率の向上や、木簡以外の文字への応用も試みている。既存の歴史的文字自動認識システムでも、極めて高精度の認識率の事例はあるものの、主として刊本を対象としており、手書きの歴史的文字への挑戦としては最高水準にあると考える。なお、AIMOJIZO は、木簡庫データベースに実装・公開している。

この二つのツールは、それ自体の利便性も重要であるが、本科研で達成したオープンデータ化がもたらす研究の展開・可能性を強く示すものだと考える。

#### [ 当初に予見していなかった新たな展開等によって得られた研究成果 ]

本科研では、木簡そのものの整理手法等の開発は意図していなかった。こうした中、深層学習なども見据えて、大量のデータを作成しオープン化したことで、木簡文字ではなく、木簡そのものについて深層学習をかけて、分析する実験を実施した。その成果として、断片化した木簡である「削屑」について、もともと同一の木簡であった可能性のある断片を収集するシステムを開発した。

オープンデータ化によって、当初計画していた範囲を超えて、調査・研究に資する大きな成果を上げることができたと思う。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計118件（うち査読付論文 49件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 32件）

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 848
2. 論文標題 奈良文化財研究所のICTへの取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 pp.9-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 末代誠仁, リー・トゥアン・ナム, グエン・コング・カー, 中川正樹, 山本和明	4. 巻 Vol. 22(2019)
2. 論文標題 階層化された情報システムのためのくずし字解読機能の試作	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本情報考古学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 pp.11-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tarin Clanuwat, Mikel Bober-Irizar, Asanobu Kitamoto, Alex Lamb, Kazuaki Yamamoto, David Ha	4. 巻 -
2. 論文標題 Deep Learning for Classical Japanese Literature	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 arXiv.org Computer Vision and Pattern Recognition (arXiv:1812.01718)	6. 最初と最後の頁 pp.1-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.20676/00000341	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Taizo YAMADA, Satoshi INOUE	4. 巻 8579468
2. 論文標題 A Common Base of Knowledge for Japanese Historical Materials and its Application	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 pp.1-6
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.23919/PNC.2018.8579468	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Mamoru Shibayama, Susumu Morimoto, Akiko Tashiro, Akihiro Kameda, Taizo Yamada, Shoichiro Hara	4. 巻 8579462
2. 論文標題 Building an Ontology-Oriented Archaeological Knowledge-Base "ArcOnBase" in Mainland Southeast Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 pp.1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC.2018.8579468	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田 太造	4. 巻 2018-CH-118
2. 論文標題 収集史料の体系化と永続的な利用に向けた管理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ(CH)	6. 最初と最後の頁 pp.1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渋谷 綾子, 高島 晶彦, 天野 真志, 山田 太造, 小島 道裕, 尾上 陽介	4. 巻 35th
2. 論文標題 古文書の起源の追跡にむけた前近代の和紙の構成物分析:研究の現状と課題,方法の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本文化財科学会大会研究発表要旨集	6. 最初と最後の頁 pp.52-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原 宏之	4. 巻 38-2
2. 論文標題 書きことばにおける敬語的表現	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本語学	6. 最初と最後の頁 pp.2-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原 宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 Yicun Wenzhi ( " Extant Characters " ) in Japanese Lexicon: Exploring Characters of Historically Chinese Origin with Evidence from Six Dynasties, Sui and Tang Dynasties China	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中国文字	6. 最初と最後の頁 pp. 153-173
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 ) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazunori Aoki, Wataru Ohyama, Tetsushi Wakabayashi	4. 巻 Vol. E101.D
2. 論文標題 Extraction and Recognition of Shoe Logos with a Wide Variety of Appearance using Two-Stage Classifiers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 IEICE Transactions on Information and Systems	6. 最初と最後の頁 pp.1325-1332
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 ) 10.1587/transinf.2017MVP0026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている ( また、その予定である )	国際共著 -

1. 著者名 桑田 訓也	4. 巻 40
2. 論文標題 伊場遺跡群出土文字資料総論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 木簡研究	6. 最初と最後の頁 pp.168-177
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 ) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上聡・谷昭佳・高山さやか	4. 巻 45
2. 論文標題 東京大学史料編纂所における史料デジタル撮影のあらましについて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 玉県地域史料保存活用連絡協議会会報	6. 最初と最後の頁 pp.10-12
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 ) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鬼塚 洋輔, 大山 航, 山田 太造, 井上 聡, 内田 誠一	4. 巻 2018
2. 論文標題 花押類似検索のための畳み込みオートエンコーダによる画像特徴抽出	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 じんもんこん2018論文集	6. 最初と最後の頁 pp.252 - 262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鷹取祐司	4. 巻 40号
2. 論文標題 書評, 簡牘整理小組編『居延漢簡』壹~肆(中央研究院歴史語言研究所專刊之一〇九) 簡牘実物に基づく初めての居延漢簡の図版	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 木簡研究	6. 最初と最後の頁 pp.237 ~ 247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 -
2. 論文標題 古代の漢字字体からみた仮名	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『第14回若手研究者支援プログラム報告集「仮名文字 万葉仮名と平仮名」』(奈良女子大学古代学・聖地学センター)	6. 最初と最後の頁 pp.51 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 11号
2. 論文標題 ベトナム人留学生の漢字字形誤用例の収集	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『JSL漢字学習研究会誌』(JSL漢字学習研究会)	6. 最初と最後の頁 pp.67 ~ 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 5号
2. 論文標題 『新撰字鏡』掲出字と日本古代の木簡の字形比較試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『ASIA 社会・経済・文化』（東大阪大学アジアこども学科）	6. 最初と最後の頁 pp.190～178
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 16号
2. 論文標題 「伝統的な言語文化」としての日本古代の漢字文化 習書木簡からの学習素材の探求	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東大阪大学・東大阪大学短期大学部教育研究紀要2018	6. 最初と最後の頁 pp.41～48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀・宮崎肇・金子拓（共著）	4. 巻 66号
2. 論文標題 『宣教卿記』天正三年正月～五月記	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『早稲田大学図書館紀要』	6. 最初と最後の頁 pp.74～95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 星野安治・浦蓉子・山本祥隆	4. 巻 40号
2. 論文標題 年輪年代学的手法による木簡研究の可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 木簡研究	6. 最初と最後の頁 pp.115～130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野安治・桑田訓也・山本祥隆・浦蓉子	4. 巻 -
2. 論文標題 「年輪年代学的手法による平城京跡出土木簡の検討2 平城第524次調査出土削屑の続報」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2018	6. 最初と最後の頁 pp.66・67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浦蓉子, 星野安治	4. 巻 2018
2. 論文標題 同一材で作られた木製人形	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.64-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浦蓉子, 星野安治	4. 巻 101(2)
2. 論文標題 年輪年代学的手法を用いた古代木製祭祀具の研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学雑誌	6. 最初と最後の頁 pp.1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 11月号
2. 論文標題 木簡学から見た日本語 文字についてー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本語学	6. 最初と最後の頁 pp.16-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 149号
2. 論文標題 書評 原秀三郎著「日本古代の木簡と荘園」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 季刊 考古学	6. 最初と最後の頁 p.108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基・高田 祐一・桑田 訓也	4. 巻 2019
2. 論文標題 IIIFの導入による木簡画像データベースの連携強化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2019	6. 最初と最後の頁 pp.18 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 41
2. 論文標題 奈良・平城宮跡	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 木簡研究	6. 最初と最後の頁 pp.5-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rejean Plamondon , Giuseppe Pirlo , Eric Anquetil , Celine Remi , Hans-Leo Teulings , Masaki Nakagawa	4. 巻 31
2. 論文標題 Personal Digital Bodyguards for e-Security, e-Learning and e-Health:A Prospective Survey	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pattern Recognition	6. 最初と最後の頁 pp.633-659
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高田智和・福山雅深・堤智昭・小助川貞次	4. 巻 第15号
2. 論文標題 資料画像公開・利用の国際化と高度化の取り組み 「日本語史研究資料 [ 国立国語研究所蔵 ] の事例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国立国語研究所論集	6. 最初と最後の頁 pp.10-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15084/00001601	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nam Tuan Ly, Kha Cong Nguyen, Cuong Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa	4. 巻 Vol. E102-D, No.8
2. 論文標題 Recognition of Anomalously Deformed Kana Sequences in Japanese Historical Documents	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEICE Trans. on Inf. & Syst	6. 最初と最後の頁 pp.1554-1564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/TRANSINF.2018EDP7361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北本 朝展 , カラーヌワット タリン , 宮崎 智 , 山本 和明	4. 巻 Vol. 102, No. 6
2. 論文標題 文字データの分析 機械学習によるくずし字認識の可能性とそのインパクト	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 電子情報通信学会誌	6. 最初と最後の頁 pp. 563-568
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20676/00000349	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原 正一郎 , 山田 太造 , 石川 正敏 , 白井 圭佑 , 亀田 堯宙 , 森 信介	4. 巻 2019
2. 論文標題 WEBビッグデータからの地域研究情報抽出の試み (第二報)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じんもんこん2019論文集	6. 最初と最後の頁 pp.315 - 320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 太造 , 井上 聡 , 山家 浩樹	4. 巻 2019
2. 論文標題 日本史料データ流通基盤に向けた歴史データリポジトリの整備	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 じんもんこん2019論文集	6. 最初と最後の頁 pp.3-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Yamada	4. 巻 15
2. 論文標題 A classification of a scene in a field note using topic model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 p.25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 S. Hara, T. Yamada, M. Ishikawa, K. Shirai, A. Kameda, S. Mori	4. 巻 15
2. 論文標題 Prototyping information system to extract area study information from web big data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Geoinformatics	6. 最初と最後の頁 p.57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada, Satoshi Inoue	4. 巻 8939645
2. 論文標題 Detection and Time Series Variation of Latent Topic from Diary in Northern and Southern Courts Period of Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of 2019 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 pp.1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤 真 , 阪田 真己子 , 松村 敦 , 山田 太造	4. 巻 2019-CH-120
2. 論文標題 「人文科学とコンピュータ分野」における研究資源と情報技術を考える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 pp.1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 23
2. 論文標題 日本の地名・人名データベースから立ち上がる記憶のコミュニティー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会と調査	6. 最初と最後の頁 pp.33-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 31
2. 論文標題 オープンな歴史的な文字データを横断的に検索していく	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 第31回東洋学へのコンピュータ予稿集	6. 最初と最後の頁 pp.119-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yosuke Onitsuka, Wataru Ohyama and Seiichi Uchida	4. 巻 -
2. 論文標題 Training Convolutional Autoencoders with Metric Learning	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of The 15th International Conference on Document Analysis and Recognition, ICDAR 2019	6. 最初と最後の頁 pp.86-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一, 金田明大, Dessislava Velcheva	4. 巻 337
2. 論文標題 Prospects and potential for the comprehensive database of archaeological site reports in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The ARIADNE Impac	6. 最初と最後の頁 pp.175-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 国武貞克, 高田祐一, Dessislava Veltheva	4. 巻 2019
2. 論文標題 国内文化財情報の集約化と多国間情報基盤の共有	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.16-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一	4. 巻 2019
2. 論文標題 文化財ビッグデータと情報検索の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.19-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 桑田 訓也	4. 巻 41
2. 論文標題 奈良・平城宮跡(1977年以前出土の木簡)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 木簡研究	6. 最初と最後の頁 pp.127-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鷹取祐司	4. 巻 19輯
2. 論文標題 秦漢時代の庶人再考-對特定身分說的批評-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 武漢大学簡帛研究中心『簡帛』	6. 最初と最後の頁 pp.75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤珠紀	4. 巻 727
2. 論文標題 中世の元号	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史と地理 日本史の研究	6. 最初と最後の頁 pp.1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子拓・遠藤珠紀	4. 巻 152
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(四)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 pp.64-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子拓・遠藤珠紀	4. 巻 151
2. 論文標題 『兼見卿記』紙背文書(三)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ビブリア	6. 最初と最後の頁 pp.67-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 901
2. 論文標題 幕府の「鎖国」政策とその実態	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 pp.4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 6号
2. 論文標題 日本古代の所用漢字についての一考察 木簡と『古事記』との比較から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ASIA 社会・経済・文化』(東大阪大学アジアこども学科学科誌)	6. 最初と最後の頁 pp.256-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 17号
2. 論文標題 教育活動 絵本の文字表現と解釈 吉田佳広『文字の絵本 風の又三郎』より	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東大阪大学・東大阪大学短期大学部教育研究紀要』	6. 最初と最後の頁 pp.55-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸・樺沢綾	4. 巻 17号
2. 論文標題 日本語ライティング授業での書き言葉への書き換え練習について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東大阪大学・東大阪大学短期大学部教育研究紀要』	6. 最初と最後の頁 pp.39-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本祥隆	4. 巻 2019
2. 論文標題 古代木簡にみえる「勝」の字体	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.44・45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 14(7)
2. 論文標題 「ひと」を感じ「相手」に寄り添い見えてくるものとは?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nursing BUSINESS	6. 最初と最後の頁 p.577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 14(8)
2. 論文標題 古代人に学ぶ天平時代の感染症対策	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nursing BUSINESS	6. 最初と最後の頁 p.673
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 14(9)
2. 論文標題 古代の社会システムから今の生き方を考える	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nursing BUSINESS	6. 最初と最後の頁 p.769
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻
2. 論文標題 竹簡について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日韓文化財論集 奈良文化財研究所学報第100冊	6. 最初と最後の頁 pp.255-269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 久留島典子	4. 巻 第29号
2. 論文標題 益田氏系図再考 史料編纂所寄託益田氏関係系図の紹介と考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学史料編纂所研究紀要	6. 最初と最後の頁 pp.163-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山田太造	4. 巻 1000
2. 論文標題 デジタル化される日本史史料の現状	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 pp.2-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada, Satoshi Inoue	4. 巻
2. 論文標題 A Flow for Digitizing Japanese Historical Materials and their Long-Term Use	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of Digital Humanities Conference 2020 (DH2020)	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渋谷綾子・山田太造・渡邊要一郎・平澤加奈子・大向一輝・金子拓・山家浩樹・保谷徹	4. 巻 2020
2. 論文標題 日本史史料の長期利用とデータ共有・連結化に向けたシステム環境整備	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 じんもんこん2020論文集	6. 最初と最後の頁 pp.23-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kha Cong Nguyen, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa	4. 巻 Vol. 133
2. 論文標題 Nom document digitalization by deep convolution neural networks	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pattern Recognition Letters	6. 最初と最後の頁 pp.8-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.patrec.2020.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kokoro Kobayashi, Tsuyoshi Oguni, Masaki Nakagawa	4. 巻 Vol. E103-D, No. 7
2. 論文標題 A Series of PIN/Password Input Methods Resilient to Shoulder Hacking Based on Cognitive Difficulties of Tracing Multiple Key Movements	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEICE Trans. Inf. & Syst.	6. 最初と最後の頁 pp.1623-1632
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/trransinf.2019EDP7181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nam Tuan Ly, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa	4. 巻 Vol. 136
2. 論文標題 An attention-based row-column encoder-decoder model for text recognition in Japanese historical documents	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pattern Recognition Letters,	6. 最初と最後の頁 pp.134-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.patrec.2020.05.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 米延仁志・星野安治・大山幹成	4. 巻 29(1)
2. 論文標題 魚梁瀬スギ標準年輪曲線(1768~2004)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 pp.15-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野安治・桑田訓也・山本祥隆	4. 巻 2020
2. 論文標題 年輪年代学的手法による平城宮第一次大極殿院西楼出土木簡の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2020	6. 最初と最後の頁 pp.22-23
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浦蓉子・山本祥隆・星野安治	4. 巻 2020
2. 論文標題 年輪年代学的手法を用いた出土木製品の検討 - 第601次	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2020	6. 最初と最後の頁 pp.179-180
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原宏之	4. 巻 39-4
2. 論文標題 年号と漢字	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本語学	6. 最初と最後の頁 pp.4-20
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原宏之	4. 巻 864
2. 論文標題 糸井通浩著『古代地名の研究事始め 山城・丹後の伝承・文学地名を中心に』	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本歴史	6. 最初と最後の頁 pp.87-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑野吉則・馬場基・桑田訓也・高田祐一	4. 巻 4
2. 論文標題 史的文字データベース連携検索ポータルサイトの公開	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2020	6. 最初と最後の頁 pp.48-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 幸	4. 巻 27
2. 論文標題 研究ノート 古代の習書木簡における練習背景点描(2) 類似する漢字の部分からの推測	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雑誌名 比治山大学紀要	6. 最初と最後の頁 pp.119-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 幸	4. 巻 7
2. 論文標題 研究ノート 日本古代の所用漢字についての一考察2 木簡、『古事記』と平安時代漢字文献との比較から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『ASIA 社会・経済・文化』(東大阪大学学科誌)	6. 最初と最後の頁 pp.294-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田裕樹・今井晃樹・山本祥隆、芝康次郎、南部裕樹・中川二美・福田さよ子、廣岡孝信	4. 巻 2020
2. 論文標題 東大寺東塔院の調査 第617次	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2020	6. 最初と最後の頁 pp.174-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻
2. 論文標題 平城宮 課題と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 広瀬和雄・山中章・吉川真司編『講座 畿内の考古学第 巻 王宮と王都』	6. 最初と最後の頁 pp.132-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻 38
2. 論文標題 倉庫令復元研究覚書	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『奈良史学』	6. 最初と最後の頁 pp.7-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 16
2. 論文標題 史的文字データベース連携検索システムの理念と未来	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ふみ	6. 最初と最後の頁 pp.6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場 基	4. 巻 第百四號
2. 論文標題 木簡目線で万葉集を覗く	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美夫君志	6. 最初と最後の頁 pp.16-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑野吉則・馬場基・桑田訓也・高田祐一	4. 巻 2021
2. 論文標題 木簡画像データセット 公開と活用	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要2021	6. 最初と最後の頁 pp.46-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野安治・中村賢太郎・明珍素也	4. 巻 3
2. 論文標題 甲斐善光寺木造源頼朝・実朝坐像の解体修理に伴う年代測定	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 奈文研論叢	6. 最初と最後の頁 pp.175-185
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大山幹成・星野安治・米延仁志・米沢康平	4. 巻 83
2. 論文標題 東北地方南部太平洋側地域における現生スギ標準年輪曲線	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文化財科学	6. 最初と最後の頁 pp.41-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 星野安治	4. 巻 -
2. 論文標題 木を見て文字も見る	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 平城宮跡資料館令和3年度秋期特別展「地下の正倉院展 - 木簡を科学する - 」	6. 最初と最後の頁 p.6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 目黒新悟・星野安治	4. 巻 2021
2. 論文標題 東大寺所蔵建築部材の年輪年代測定と転害門の改造時期 - 東大寺東塔復元研究 4 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田仁暉・星野安治・浦蓉子・高妻洋成	4. 巻 2021
2. 論文標題 平城宮・京跡出土曲物の年輪年代測定	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.3-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑田訓也	4. 巻 74
2. 論文標題 文献からみた日本古代の灯明皿	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 百済研究	6. 最初と最後の頁 pp.173-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村覚・須田牧子・黒嶋敏・井上聡・山田太造	4. 巻 2021
2. 論文標題 データ駆動型歴史情報研究基盤の構築に向けた知識ベースの構築とその活用：絵図史料を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 pp.88-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造・中村覚・渋谷綾子・大向一輝・井上聡	4. 巻 2021
2. 論文標題 日本史史料を対象とした研究データ基盤整備における課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 じんもんこん2021論文集	6. 最初と最後の頁 pp.80-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Taizo Yamada, Satoshi Inoue	4. 巻 2021
2. 論文標題 Personal Name Authority Data Repository for Advancement Data-driven Research in Japanese History	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 2021 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC)	6. 最初と最後の頁 pp.13-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.23919/PNC53575.2021.9672287	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Satoru Nakamura, Taizo Yamada	4. 巻 2021
2. 論文標題 Development of data-driven historical information research infrastructure at the Historiographical Institute in the University of Tokyo	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proc of JADH2021	6. 最初と最後の頁 pp.148-151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鷹取祐司	4. 巻 15
2. 論文標題 長沙五一廣場東漢簡牘・君教文書新考	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 韓国・慶北大学人文アカデミー『東西人文』	6. 最初と最後の頁 pp.207-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鷹取祐司	4. 巻 44
2. 論文標題 漢代兵役考証	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 立命館東洋史学	6. 最初と最後の頁 pp.1-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原宏之	4. 巻 585
2. 論文標題 方言地名	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地図中心	6. 最初と最後の頁 pp.10-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 笹原宏之	4. 巻 -
2. 論文標題 日本語と中国語に借用された字喃で表記されるベトナム語 辞典に採用された「バ」の漢字圏における伝播と変容に関する字誌	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 早稲田大学日本語学会編『早稲田大学日本語学会設立60周年記念論文集 言葉のしくみ』	6. 最初と最後の頁 pp.55-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村直樹	4. 巻 41(1)
2. 論文標題 国際貿易都市長崎の成立と特質	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地図情報	6. 最初と最後の頁 pp.13-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本祥隆・山崎有生	4. 巻 3
2. 論文標題 興福寺創建東金堂院の再検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 奈文研論叢	6. 最初と最後の頁 pp.153-173
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻 1
2. 論文標題 平城京編年史料集成(稿)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『平城宮・京跡出土木簡とその歴史環境のグローバル資源化』	6. 最初と最後の頁 pp.107-279
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻 1
2. 論文標題 平城京居住者一覧(稿)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『平城宮・京跡出土木簡とその歴史環境のグローバル資源化』	6. 最初と最後の頁 pp.281-303
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Takata, Peter Yanase	4. 巻 58
2. 論文標題 The Production, Preservation and Dissemination of Archaeological Data in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Internet Archaeology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11141/ia.58.11	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 高田祐一	4. 巻 305
2. 論文標題 奈良文化財研究所の図書資料室とデータベース	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 専門図書館	6. 最初と最後の頁 pp.153-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一	4. 巻 85
2. 論文標題 様々な文化財情報を検索できる「全国遺跡報告総覧」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 明日への文化財	6. 最初と最後の頁 pp.72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一, 野口淳	4. 巻 2021
2. 論文標題 機械学習による石器図面画像の自動抽出と分類	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 奈良文化財研究所紀要	6. 最初と最後の頁 pp.50-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一	4. 巻 18
2. 論文標題 「文化財総覧WebGIS」の公開 地図から多様な文化財を探す	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 遺跡学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高田祐一	4. 巻 18
2. 論文標題 書評：中西裕見子・片桐千亜紀著『地中海の水中文化遺産』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 遺跡学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑野吉則・馬場基・桑田訓也・高田祐一	4. 巻 2021
2. 論文標題 木簡画像データセット 公開と活用	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『奈良文化財研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 pp.46-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場基	4. 巻 37
2. 論文標題 文献史料からみた国府	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 別冊季刊考古学	6. 最初と最後の頁 pp.59-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 馬場基	4. 巻 -
2. 論文標題 日本古代漢字漢字運用規範を木簡から探す	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本文学研究ジャーナル	6. 最初と最後の頁 pp.25-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 畑野吉則・馬場基	4. 巻 2022
2. 論文標題 市民参加型筆順情報取得アプリケーション「ナゾルクン」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『奈良文化財研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 pp.56-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 劉冠偉, 宮崎肇, 井上聡, 大山航, 山田太造	4. 巻 2022
2. 論文標題 花押を対象としたデータ駆動型歴史情報学研究の実践	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 pp.171-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田太造, 中村覚, 劉冠偉, 井上聡	4. 巻 2022
2. 論文標題 日本史史料データプラットフォーム構築に向けた取り組みと課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 pp.249-256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉冠偉, 中村覚, 山田太造	4. 巻 2022
2. 論文標題 研究資源としてのWEB APIの利用: 歴史資料・古典籍の字形を横断的に検索するアプリケーションの開発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 じんもんこん2022論文集	6. 最初と最後の頁 pp.165-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村覚, 劉冠偉, 山田太造	4. 巻 2022-CH-130
2. 論文標題 NDLOCRを用いた東京大学史料編纂所史料集版面画像に対する検索システムの開発	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 研究報告人文科学とコンピュータ (CH)	6. 最初と最後の頁 pp.1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Liu Guanwei, Nakamura Satoru, Yamada Taizo	4. 巻 2022
2. 論文標題 A Unicode Input Support Tool for Searching Chinese Characters by Components and Stroke Number	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of DH2022	6. 最初と最後の頁 pp.653-655
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shibutani Ayako, Nakamura Satoru, Yamada Taizo, Yanbe Koki	4. 巻 2022
2. 論文標題 Developing a Comprehensive Application for Digital Transformation of Historical Materials	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of DH2022	6. 最初と最後の頁 pp.684-685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Satoru, Suda Makiko, Kuroshima Satoru, Inoue Satoshi, Yamada Taizo	4. 巻 2022
2. 論文標題 Building a Knowledge Base for Data- Driven Historical Information Research Infrastructure and Its Application with Historical Painting Materials	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Proceedings of DH2022	6. 最初と最後の頁 pp.659-661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本和明	4. 巻 19
2. 論文標題 くずし字華ざかり	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ふみ	6. 最初と最後の頁 p.10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鷹取祐司	4. 巻 26
2. 論文標題 秦漢代『庶人』考証	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中国出土資料研究	6. 最初と最後の頁 pp.1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上幸	4. 巻 8
2. 論文標題 「基礎能力 (コミュニケーションの基礎)」科目のルーブリック実施報告	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 流通科学大学 高等教育推進センター紀要	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻 -
2. 論文標題 上野三碑の時代 木簡からみた上野国と律令国家の税制	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『上野三碑の時代 7・8世紀の都と東国』（群馬県立歴史博物館第107回企画展展示図録）	6. 最初と最後の頁 pp.18-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 巻 40
2. 論文標題 書式と墨書媒体 神祇令集解孟夏条の議論から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『奈良史学』	6. 最初と最後の頁 pp.1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計151件（うち招待講演 38件 / うち国際学会 50件）

1. 発表者名 馬場基
2. 発表標題 東アジア文字文化の中の韓国木簡
3. 学会等名 朝鮮文化研究所主催ワークショップ「韓国木簡と日本木簡との対話－韓国木簡研究20年」（早稲田大学）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田智和
2. 発表標題 『石塚漢字字体資料』と『漢字字体規範史データベース』
3. 学会等名 シンポジウム「文字情報データベースの保存と継承」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 末代誠仁
2. 発表標題 階層化された情報システムのためのくずし字解読機能の試作
3. 学会等名 日本情報考古学会 第42回 大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田 太造
2. 発表標題 収集史料の体系化と永続的な利用に向けた管理
3. 学会等名 第118回人文科学とコンピュータ研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 太造
2. 発表標題 日本史研究を進展していくためのデータプラットフォーム
3. 学会等名 第1回データ活用研究コミュニティワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 太造
2. 発表標題 複製による日本関係史料の収集とその永続的管理
3. 学会等名 国際シンポジウム「デジタル時代における人文学の学術基盤をめぐって」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹原 宏之
2. 発表標題 表現京都名勝”天橋立”的和制漢字
3. 学会等名 首届跨文化漢字國際研討会 東亜碑刻漢字及文献研究 鄭州大学（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹原 宏之
2. 発表標題 日本製漢字の変遷と位相
3. 学会等名 東京外大 アジア文字研究基盤の構築1 文字学に関する用語・概念の研究（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 笹原 宏之
2. 発表標題 六朝・隋・唐で造られて日本に使用の痕跡が残った「佚存文字」
3. 学会等名 中日古典学ワークショップ 早大・北京大（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石原 丈央, 大山 航, 白井 伸宙, 若林 哲史
2. 発表標題 オフライン毛筆書写文字の定量的質評価
3. 学会等名 第24回・画像センシングシンポジウム（SSI12018）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 富岡 永伍, 大山 航, 若林 哲史, 白井 伸宙
2. 発表標題 カメラベースOCRにおける連結成分解析を用いた東アジア言語の判定
3. 学会等名 第24回・画像センシングシンポジウム (SSI12018)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鬼塚 洋輔, 大山 航, 山田 太造, 井上 聡, 内田 誠一
2. 発表標題 畳み込みオートエンコーダによる花押画像解析
3. 学会等名 平成30年度電気・情報関係学会九州支部連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大山 航
2. 発表標題 Signature Verification by Verifier Fusion Technique with Random-Impostor Training
3. 学会等名 第8回バイオメトリクスと認識・認証シンポジウム (SBRA2018)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鬼塚 洋輔, 大山 航, 山田 太造, 井上 聡, 内田 誠一
2. 発表標題 花押類似度のための畳み込みオートエンコーダによる画像特徴量抽出
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん) 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大山 航, 鈴木 昌和, 内田 誠一
2. 発表標題 深層学習を利用した数学文書からの数式文字, 図表の抽出
3. 学会等名 情報アクセシビリティをめぐる諸問題に関する研究集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 桑田 訓也
2. 発表標題 木簡から『日本書紀』の史料性を考える
3. 学会等名 国際シンポジウム 古代史料に見る歴史と文学 (主催: スーパーグローバル大学創成支援事業 早稲田大学国際日本学拠点)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡谷 陽平, 白井 啓一郎, 宮尾 秀俊, 丸山 稔
2. 発表標題 木簡画像に対する SVM を用いた背景領域の検出法の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会 信越支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡谷 陽平, 白井 啓一郎, 宮尾 秀俊, 丸山 稔
2. 発表標題 木簡画像データベース用の単色・カラー画像の判別法および木簡領域の検出法の検討
3. 学会等名 画像センシング技術研究会 画像センシングシンポジウム (SSI1)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 勇弥, 白井 啓一郎, 宮尾 秀俊, 丸山 稔
2. 発表標題 複数の色や成分を扱う画像処理における画素ごとの特異値分解の計算効率化
3. 学会等名 電子情報通信学会 信号処理シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡谷 陽平, 白井 啓一郎, 小野 峻佑, 奥田 正浩
2. 発表標題 画像の全域にわたって生じた均一な不要パタンの除去法
3. 学会等名 MATLAB EXPO
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤 勇弥, 白井 啓一郎, 宮尾 秀俊, 丸山 稔
2. 発表標題 複数の色や成分を扱う画像処理における画素ごとの特異値分解の計算効率化の検討
3. 学会等名 電子情報通信学会 回路とシステムワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上幸
2. 発表標題 古代の漢字字体からみた仮名
3. 学会等名 第14回若手研究者支援プログラム「仮名文字 万葉仮名と平仮名」(奈良女子大学古代学・聖地学センター)、於奈良女子大学
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上幸
2. 発表標題 ベトナム人留学生の漢字字形誤用例の収集
3. 学会等名 JSL漢字学習研究会、於東大阪大学
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 星野安治, 桑田訓也, 山本祥隆, 浦蓉子
2. 発表標題 年輪年代学的手法による平城京左京二条二坊十四坪出土木簡の同一材推定
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮崎肇
2. 発表標題 古文書を写すということ 中世の「書写」から近代の「影写」まで
3. 学会等名 平成30年度東寺百合文書展 中世の古文書が近代によみがえる！ 講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 方 国花
2. 発表標題 「日本古代木簡の標準字体」
3. 学会等名 第40回木簡学会研究集会
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nam Tuan Ly, Cuong Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa
2 . 発表標題 Training an End-to-End Model for Offline Handwritten Japanese Text Recognition by Generated Synthetic Patterns
3 . 学会等名 International Conference on Frontiers in Handwriting Recognition ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Hung Tuan Nguyen, Cuong Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa
2 . 発表標題 Online Japanese Handwriting Recognizers using Recurrent Neural Networks
3 . 学会等名 International Conference on Frontiers in Handwriting Recognition
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masaki Nakagawa
2 . 発表標題 Latest Applications of Deep Neural Networks to Handwriting Recognition and Identification
3 . 学会等名 3rd International Conference on Computer Vision and Image processing (CVIP 2018)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masaki Nakagawa
2 . 発表標題 Latest Applications of Deep Neural Networks to Handwriting Recognition and Identification
3 . 学会等名 International Conference on Recent Advances in Computer Science, Mathematics, Physics and Electronics (ICRA),
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Masaki Nakagawa
2 . 発表標題 Latest Applications of Deep Neural Networks to Handwriting Recognition and Identification
3 . 学会等名 3rd Joint Conference of ICATAS/MJJIC/JASTIP 2018
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Asanobu KITAMOTO, Hiroshi HORII, Misato HORII, Chikahiko SUZUKI, Kazuaki YAMAMOTO, Kumiko FUJIZANE
2 . 発表標題 Differential Reading by Image-based Change Detection and Prospect for Human-Machine Collaboration for Differential Transcription
3 . 学会等名 Digital Humanities 2018 ( <a href="https://dh2018.adho.org/en/">https://dh2018.adho.org/en/</a> 26-29 June, Mexico City, Sheraton Maria Isabel) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Fujimura Ryoko , Matsubara Megumi , Yamamoto Kazuaki
2 . 発表標題 Digitized collection of pre-modern Japanese works and its use on the NIJL-NW project
3 . 学会等名 2018 EAJRS conference in Kaunas ( <a href="https://www.eajrs.net/conferences/2018-kaunas">https://www.eajrs.net/conferences/2018-kaunas</a> ) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Tarin Clanuwat, Mikel Bober-Irizar, Asanobu Kitamoto, Alex Lamb, Kazuaki Yamamoto, David Ha
2 . 発表標題 Deep Learning for Classical Japanese Literature
3 . 学会等名 Neural Information Processing Systems 2018 Second Workshop on Machine Learning for Creativity and Design ( <a href="https://nips.cc/Conferences/2018/Schedule?showEvent=10924">https://nips.cc/Conferences/2018/Schedule?showEvent=10924</a> ) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 A Common Base of Knowledge for Japanese Historical Materials and its Application
3. 学会等名 2018 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings (PNC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田 太造
2. 発表標題 Data Sharing Method Related to Japanese Historical Materials by Japanese Calendar Cording
3. 学会等名 International Workshop on Spatio-Temporal Knowledge, Center for GIS (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wataru Ohyama, Keigo Matsuda
2. 発表標題 Signature Verification by Verifier Fusion Technique with Random-Impostor Training
3. 学会等名 The 14th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西田友広
2. 発表標題 「武家の王権と文字」
3. 学会等名 ワークショップ「Herrschaft im Spiegel der Geschichte. Die Chronik Azuma kagami (Spiegel des Ostens) / 『吾妻鏡：歴史記録に映る支配の諸相』」(ドイツ・ボン大学)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 日本木簡的研究資源化的新展開（日本木簡の研究資源化的新展開）
3. 学会等名 首届中日韓出土簡牘研究國際論壇及第四屆簡帛學的理論與實踐學術研討會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 文字史料から見た古代の塩
3. 学会等名 シンポジウム「日本列島における製塩技術史の解明 時代と空間の拡張から見えるもの」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 奈良時代の働き方改革
3. 学会等名 第57回日本医療・病院管理学会学術総会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 木簡情報のオープンデータ化と文字画像DB連携の強化
3. 学会等名 日本文化とAIシンポジウム2019「AIがくずし字を読む時代がやってきた」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hung Tuan Nguyen , Cuong Tuan Nguyen , Masaki Nakagawa
2. 発表標題 Segmenting Text in Japanese Historical Document Images using Convolutional Neural Networks
3. 学会等名 人文科学とコンピュータ 2019 シンポジウム ( IPSJ SIG Computers and the Humanities ) / 立命館大学 大阪いばらきキャンパス いばらきフューチャープラザ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kha Cong Nguyen, Seiji Hotta and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 A Character Attention Generative Adversarial Network for Degraded Historical Document Restoration,
3. 学会等名 Proc. 15th International Conference on Document Analysis and Recognition, Sydney, Australia, pp.420-425. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nam Tuan Ly, Cuong Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 An attention-based end-to-end model for multiple text lines recognition in Japanese Historical Documents
3. 学会等名 Proc. 15th International Conference on Document Analysis and Recognition, Sydney, Australia, pp.629-634 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 久留島典子
2. 発表標題 「歴史的思考力とは何か、コメントにかえて」
3. 学会等名 日本学術会議史学委員会・日本歴史学協会主催「歴史教育シンポジウム 「歴史総合」をめぐる(4) - 「歴史総合」の背景 - 」(駒沢大学 駒沢キャンパス)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守岡知彦、劉冠偉、高田智和
2. 発表標題 漢字字体規範史データセット用従来型UI再生の試み
3. 学会等名 第120回人文科学とコンピュータ研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守岡知彦、劉冠偉、高田智和
2. 発表標題 漢字字体規範史データセットと単字検索
3. 学会等名 日本語学会2019年度秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田智和
2. 発表標題 漢字字体規範史データセット単字検索
3. 学会等名 NINJALセミナー「日本語研究の基盤としての言語資源」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹内正広, 早坂太一, 大野互, 加藤弓枝, 山本和明, 石川徹也
2. 発表標題 くずし字の検出および認識を行う組み込みシステムの開発
3. 学会等名 人文科学とコンピュータ 2019 シンポジウム ( IPSJ SIG Computers and the Humanities ) / 立命館大学 大阪いばらきキャンパス いばらきフューチャープラザ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 早坂 太一、竹内 正広、大野 互、加藤 弓枝、山本 和明、石間 衛、石川 徹也
2. 発表標題 ADEAC の画像データを利用したくずし字認識 AI の開発と組み込みシステムへの実装
3. 学会等名 第 25 回公開シンポジウム 人文科学とデータベース / 株式会社図書館流通センター 本社ビル
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山田 太造
2. 発表標題 日本史史料データ流通基盤に向けた歴史データリポジトリの整備
3. 学会等名 人文科学とコンピュータ 2019 シンポジウム ( IPSJ SIG Computers and the Humanities ) / 立命館大学 大阪いばらきキャンパス いばらきフューチャープラザ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Detection and Time Series Variation of Latent Topic from Diary in Northern and Southern Courts Period of Japan
3. 学会等名 2019 Pacific Neighborhood Consortium Annual Conference and Joint Meetings: Human Rights in Cyberspace, PNC 2019 ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Temporal change of personal name based on pre-modern Japanese historical materials
3. 学会等名 Workshop on Spatiotemporal Knowledge in PNC 2019 ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Digitalization of pre-modern Japanese Historical Material by Historiographical Institute The University of Tokyo
3. 学会等名 2019 EAJRS conference in Sofia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 オープンな歴史的な文字データを横断的に検索していく
3. 学会等名 第31回東洋学へのコンピュータ利用
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Usages and needs for temporal data gazetteers in studies about Japanese history
3. 学会等名 2019 International Workshop on Spatiotemporal Knowledge: Toward Sharing Resources about Spatiotemporal Information (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Taizo YAMADA
2. 発表標題 A Case Study on Digitalization Workflow and Data Management of Pre-modern Japanese Historical Material in Historiographical Institute The University of Tokyo
3. 学会等名 4th RsDA International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 日本史史料の長期利用に向けたシステム環境整備
3. 学会等名 JGSS国際シンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡辺晃宏
2. 発表標題 日本の木簡調査、其現状和課題（日本の木簡調査、その現状と課題）（中文）
3. 学会等名 届中日韓出土簡牘研究国際論壇及第四届簡帛学的理論與實踐學術研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 笹原宏之
2. 発表標題 「日本製漢字の造字法 付 朝鮮（韓国）製漢字」
3. 学会等名 日本漢字学会（東京大学 駒場） シンポジウム 字体と造字法の創造力 - 漢字文化圏の周辺部より問う（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yosuke Onitsuka, Wataru Ohyama, Seiichi Uchida
2. 発表標題 Learning Convolutional Autoencoders with a Metric Constraint
3. 学会等名 第22回画像の認識理解シンポジウム（MIRU2019）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yosuke Onitsuka, Wataru Ohyama and Seiichi Uchida
2. 発表標題 Training Convolutional Autoencoders with Metric Learning
3. 学会等名 The 15th International Conference on Document Analysis and Recognition, ICDAR 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大山 航
2. 発表標題 画像でつなぐ情報学と歴史学の研究コラボレーション
3. 学会等名 日本光学会情報フォトンクス研究グループ第5回MIETAワーキンググループ研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wataru Ohyama
2. 発表標題 Machine Learning Contributing Historiographical Researches
3. 学会等名 人工知能・先端材料シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 デジタル技術を活用した発掘調査報告書のアクセス性向上の試行
3. 学会等名 日本考古学協会第85回 (2019年度) 総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 発掘調査報告書のデータ量を推計する
3. 学会等名 文化財方法論研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 考古学デジタルデータの課題と可能性
3. 学会等名 考古学・文化財データサイエンス研究集会「考古学ビッグデータの可能性と世界的潮流」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 全国遺跡報告総覧と遺跡抄録の今後の可能性
3. 学会等名 2019年度第1回 報告書データベース作成に関する説明会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 全国遺跡報告総覧と遺跡抄録の今後の可能性
3. 学会等名 2019年度第2回 報告書データベース作成に関する説明会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高田 祐一
2. 発表標題 全国遺跡報告総覧と遺跡抄録の今後の可能性
3. 学会等名 2019年度第3回 報告書データベース作成に関する説明会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鷹取祐司
2. 発表標題 關於里耶秦簡9-2283、 5、 6 的文書傳送情況
3. 学会等名 “多元視角下的傳統法律文獻研究” 國際學術研討會（招待講演）（國際學會）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木村直樹
2. 発表標題 九州諸藩から見る「長崎・出島」
3. 学会等名 長崎考古学会秋季大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上幸
2. 発表標題 日本古代の木簡と漢字 【研修講師】
3. 学会等名 第35回漢文教育研修会（於：湯島聖堂斯文會館、全國漢文教育學會）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上幸
2. 発表標題 『古事記』の使用漢字についての一試論 木簡の使用漢字との比較から
3. 学会等名 古事記学会8月例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 武田寛生・山本祥隆
2. 発表標題 静岡県尾羽廃寺跡の発掘調査と出土木簡
3. 学会等名 第41回木簡学会研究集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 方 国花
2. 発表標題 古代東亜地域木簡・簡牘の字体比較（古代東アジア地域の木簡・簡牘の字体比較）
3. 学会等名 首届中日韓出土簡牘研究国際論壇及第四届簡帛学的理論與實踐學術研討会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬場基
2. 発表標題 奈良時代のパンデミックと社会
3. 学会等名 第58回 日本医療・病院管理学会学術総会（WEB開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 馬場基
2. 発表標題 史的文字データベース連携検索システムの公開
3. 学会等名 古代東アジア文字資料研究の現在と未来（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 馬場基
2. 発表標題 史的文字DBとその利活用について（1）
3. 学会等名 2020年度 KU-ORCAS 国際シンポジウム デジタルヒューマニティーズ推進のための環境構築とその課題（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大向一輝・渡邊要一郎・渋谷綾子・平澤加奈子・山田太造・山家浩樹・保谷徹
2. 発表標題 東京大学史料編纂所におけるデータインフラ整備の現状
3. 学会等名 2020年度統計関連学会連合大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Trung Tan Ngo, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa
2. 発表標題 A Siamese Network based approach for matching various sizes of excavated wooden fragments
3. 学会等名 Proc. International Conference on Frontiers in Handwriting Recognition, (ICFHR)（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hung Tuan Nguyen, Tsubasa Nakamura, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa
2. 発表標題 Online trajectory recovery from offline handwritten Japanese kanji characters
3. 学会等名 Proc. International Conference on Pattern Recognition, (ICPR) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kokoro Kobayashi, Tsuyoshi Oguni, Masaki Nakagawa
2. 発表標題 Evaluation of Secure Pad Resilient to Shoulder Hacking
3. 学会等名 Proc. International Conference on Human-Computer Interaction, (HCI) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kha Cong Nguyen, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa
2. 発表標題 A Semantic Segmentation-based Method for Handwritten Japanese Text Recognition
3. 学会等名 Proc. International Conference on Frontiers in Handwriting Recognition, (ICFHR) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 星野安治・桑田訓也・山本祥隆
2. 発表標題 年輪年代学的手法による平城宮第一次大極殿院西楼出土木簡の同一材推定
3. 学会等名 日本文化財科学会第37回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大山航・畑野吉則・馬場基
2. 発表標題 深層学習による木簡実測図の自動作成
3. 学会等名 人文科学とコンピュータシンポジウム（じんもんこん2020）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大山航・畑野吉則・馬場基
2. 発表標題 人工知能技術による木簡見取図の自動作成
3. 学会等名 古代東アジア文字資料研究の現在と未来（韓国・慶北大学校人文学術院HK+事業団主催）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 重要文化財 長屋王家木簡 地下の正倉院展2020より
3. 学会等名 慶北大学校HK事業団第15回専門家招聘講演（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 木簡目線で万葉集を覗く
3. 学会等名 美夫君志会 全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 日本人の書き方のルーツを探る
3. 学会等名 慶北大学校人文学術HK+事業団『第17回専門家招請講演会』（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 天平人、パンデミックに立ち向かう
3. 学会等名 第62回日本人間ドック学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 畑野吉則・馬場基
2. 発表標題 史的な文字データベース連携検索システムの紹介
3. 学会等名 第31回日本資料専門家欧州協会年次大会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬場 基
2. 発表標題 史的な文字データベース連携検索システム
3. 学会等名 日本漢字学会 第4回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 星野安治
2. 発表標題 年輪年代学の歴史・考古学分野への応用 - 平城京跡における事例を中心に -
3. 学会等名 2021年度樹木年輪研究会オンラインシンポジウム「年輪年代学の現在と歴史・考古学への展開」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 前田仁暉・星野安治・浦蓉子・高妻洋成
2. 発表標題 平城宮・京跡出土曲物の年輪年代測定 - 木簡の年紀との対応関係 -
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米延仁志・星野安治・大山幹成
2. 発表標題 高精度文化財資料撮像装置の開発
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大山幹成・米延仁志・星野安治・鈴木伸哉・藤原健・安江恒・佐野雅規・庄健治朗
2. 発表標題 ヒノキ科樹種年輪幅標準曲線ネットワークの気候応答
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大山幹成・米延仁志・鈴木伸哉・星野安治
2. 発表標題 中部産ヒノキ属の2000年年輪幅標準年輪曲線構築
3. 学会等名 日本文化財科学会第38回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 木簡に見える古代の日韓交流
3. 学会等名 奈良韓国教育院文化講演会「古代の日韓関係について」第2回（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 2021年全国出土の木簡
3. 学会等名 木簡学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 （シンポジウムのパネリストとして登壇）
3. 学会等名 古代日韓交流遺跡地探訪プログラム「飛鳥の風、“ナラ”をつくる」第6回 シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本和明
2. 発表標題 人文学の視点からの文字
3. 学会等名 「文字の集い」(科研基盤研究(S))「機械可読時代における文字科学の創成と応用展開」による集い 研究代表者内田誠—九州大学システム情報科学研究院教授(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本和明
2. 発表標題 人文学研究とDX
3. 学会等名 神戸大学人文学研究科講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本和明
2. 発表標題 The New NIJL Database: The Largest Digital Reference on Pre-modern Japanese Works (The future possibilities of DH in Japanese Studies PART EAJS event)
3. 学会等名 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤村涼子・山本和明
2. 発表標題 Researching with online images and in libraries
3. 学会等名 3. 学会等名 The 31st EAJRS (European Association of Japanese Resource Specialists) conference in Saint Petersburg (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kazuaki Yamamoto
2. 発表標題 Kuzushi-ji: a lost form of writing?
3. 学会等名 NIJL/EAJRS Kuzushi-ji Workshop (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 日本史研究を取り巻くデータの収集と管理
3. 学会等名 第132回(2021年春季)東京大学公開講座(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Personal Name Authority Data Repository for Advancement Data-driven Research in Japanese History
3. 学会等名 PNC 2021 Annual Conference & Joint Meetings (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 日本史史料を対象とした研究データ基盤整備における課題
3. 学会等名 日本史史料を対象とした研究データ基盤整備における課題
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taizo Yamada
2. 発表標題 Data Collection on Japanese Historical Materials by Historiographical Institute of the University of Tokyo
3. 学会等名 RsDA International Workshop 2021-3 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 デジタル化された日本史研究資源のゆくえ
3. 学会等名 国立大学附置研究所・センター会議第3部会(人文・社会科学系)シンポジウム「人文・社会科学とインフラ化する研究データ」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tan-Trung Ngo, Hung Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 A-VLAD: An End-to-End Attention-based Neural Network for Writer Identification in Historical Documents
3. 学会等名 Proc. 16th International Conference on Document Analysis and Recognition (ICDAR 2021), (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nam Tuan Ly, Hung Tuan Nguyen and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 2D Self-Attention Convolutional Recurrent Network for Offline Handwritten Text Recognition
3. 学会等名 Proc. 16th International Conference on Document Analysis and Recognition (ICDAR 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tan-Trung Ngo, Hung Tuan Nguyen, Nam Tuan Ly and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 Recurrent neural network transducer for Japanese and Chinese offline handwritten text recognition
3. 学会等名 Proc. 1st Workshop on Document Images and Language (DIL 2021) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Trung Tan Ngo, Hung Tuan Nguyen, and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 Neural Network-based Local Feature Descriptors for Matching Excavated Mokkan Fragments of Various Sizes
3. 学会等名 IEICE technical report, PRMU2021-33, pp.51-56 (2021.12). (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nam Tuan Ly, Trung Tan Ngo and Masaki Nakagawa
2. 発表標題 A Self-Attention based Model for Offline Handwritten Text Recognition
3. 学会等名 ACPR2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鷹取祐司
2. 発表標題 秦漢時代の「庶人」について-身分標識不所持説の検証を中心に-
3. 学会等名 中国出土資料学会 2021年度第2回大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 笹原宏之
2. 発表標題 日本製漢字の歴史と中国への伝播
3. 学会等名 中山大学 高端外国專家引進計畫 跨領域高端學者對話 日本學研究前沿與創新型外語人才培養系列講座（招待講演）（國際學會）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田海人・畑野吉則・馬場基・大山航
2. 発表標題 Siamese Networkを用いた 削り屑木簡のクラスタリング
3. 学会等名 第24回 画像の認識理解シンポジウム（MIRU2021）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 仲居優志・宮崎肇・井上聡・大山航
2. 発表標題 深層学習による古文書中の文字位置検出
3. 学会等名 第24回 画像の認識理解シンポジウム（MIRU2021）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山田海人・畑野吉則・馬場基・大山航
2. 発表標題 深層学習を用いた削り屑木簡のグループ化と再構成
3. 学会等名 情報処理学会第84回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 仲居優志・宮崎肇・井上聡・大山航
2. 発表標題 深層計量学習を用いた花押画像検索
3. 学会等名 情報処理学会第84回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本祥隆・山崎有生
2. 発表標題 興福寺東金堂院の再検討
3. 学会等名 奈良歴史研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺晃宏
2. 発表標題 日本古代木簡の廃棄と再利用
3. 学会等名 慶北大学校人文学術院HK+事業団第4回国際学術大会「木から紙へ 書写媒体の変化と古代東アジア」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 考古学・埋蔵文化財の情報プラットフォームとしての全国遺跡報告総覧 - When Where Whatで検索できるシステムを目指して -
3. 学会等名 日本考古学協会第87回総会研究発表 セッション4 オープンサイエンス時代の考古学・埋蔵文化財情報
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 徳川大坂城再築と甲山の石切場
3. 学会等名 KG歴史考古の会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 城郭石垣に関わる巨石採石技術
3. 学会等名 KG歴史考古の会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 「全国遺跡報告総覧」と文化財論文ナビ
3. 学会等名 文化財論文ナビ×博物館・図書館連携で拡げるオープンな文化財情報
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 地域の文化財を調べる・Wikipediaに引用する
3. 学会等名 考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロンonline#17
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一, ヤナセ・ペーテル
2. 発表標題 全国遺跡報告総覧：日本考古学の最大規模のデータベース
3. 学会等名 The 11th Conference of Japanese Association for Digital Humanities (JADH2021)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野口淳・青木和人・荒井翔平・高田祐一・三好清超・大矢祐司・木村 聡
2. 発表標題 文化財×Wikipedia 地域における考古学・文化財情報発信の方法として
3. 学会等名 日本情報考古学会第45回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一
2. 発表標題 コメント -文化財・利活用の観点から-
3. 学会等名 公開研究集会「新たな画像公開方法とデジタル連携」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高田祐一・西尾悟
2. 発表標題 60万を超える地物の属性検索・描画に対応した文化財総覧WebGISの開発
3. 学会等名 FOSS4G Japan 2021 Online コアデイ
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井口奏大・高田祐一
2. 発表標題 地域学習や文化財防災に役立つ文化財総覧WebGIS
3. 学会等名 第13回地理院地図パートナーネットワーク会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬場基
2. 発表標題 人文学研究データ管理の最前線
3. 学会等名 DH2022東京
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 日本史史料データプラットフォーム構築に向けた取り組みと課題
3. 学会等名 第24回人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2022」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田太造
2. 発表標題 史料編纂所における日本史史料の収集とその管理
3. 学会等名 Workshop of Frontiers in Humanities research Data Management in conjunction with DH2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川里 康太, 白井 啓一郎
2. 発表標題 球面多様体上の凸制約に基づく最適な合成係数による色主成分の分析
3. 学会等名 電子情報通信学会 回路とシステムワークショップ
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川里 康太, 白井 啓一郎
2. 発表標題 平坦な色成分を抽出する色変換における第二主成分の計算法
3. 学会等名 電子情報通信学会 信越支部大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川里 康太, 白井 啓一郎
2. 発表標題 球面多様体上での全変動最小化に基づく色変換における制約式の改良による計算効率化
3. 学会等名 電子情報通信学会 信号処理シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 平城第621次調査出土木簡について
3. 学会等名 木簡学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 桑田訓也
2. 発表標題 木簡からみた古代日本の法制と行政制度
3. 学会等名 慶北大学校 人文学院院 HK+事業団 第5回国際学会議 木簡に反映された古代東アジアの法制と行政制度（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 K. Yamamoto
2. 発表標題 Database of Pre-modern Japanese Works(The Future of Collaborative Data-Driven Research in Japanese Studies)
3. 学会等名 The Twenty-fourth Asian Studies Conference Japan (ASCJ)（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本和明
2. 発表標題 歴史的典籍NW事業のオープンデータ
3. 学会等名 ADHO Local Organizers'session（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鷹取祐司
2. 発表標題 秦漢時期對逃犯の措置-以張家山漢簡二年律令122-124為中心-
3. 学会等名 「國家制度與社會工作坊」線上會議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上幸
2. 発表標題 所用漢字からみる上代の文字生活 木簡の所用漢字を中心に
3. 学会等名 上代文学会秋季大会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大山航, 畑野吉則, 馬場基
2. 発表標題 木簡等の歴史資料研究を支援する画像センシング・機械学習技術
3. 学会等名 第28回画像センシングシンポジウム (SSI2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田海人, 大山航
2. 発表標題 削り屑木簡画像分類のための深層計量学習
3. 学会等名 第28回画像センシングシンポジウム (SSI2022)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KITADAI, Akihito
2. 発表標題 Implementation and Teaching Plan of Spreadsheet Application for Basic Education of Artificial Intelligence
3. 学会等名 World Conference on Computers in Education (WCCE 2022) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masayuki HONDA, Hung Tuan NGUYEN, Cuong Tuan NGUYEN, Cong Kha NGUYEN, Ryosuke ODATE, Takashi KANEMARU and Masaki NAKAGAWA
2. 発表標題 A Semi-Supervised Learning Framework for Handwritten Text Recognition using Mixed Augmentations and Scheduled Pseudo-Label Loss
3. 学会等名 電子情報通信学会 PRMU研究会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計30件

1. 著者名 松方冬子編（分担執筆：橋本雄他）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 360
3. 書名 国書がむすぶ外交	

1. 著者名 馬場 基	4. 発行年 2018年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 360
3. 書名 日本古代木簡論	

1. 著者名 笹原 宏之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 三省堂	5. 総ページ数 24
3. 書名 沖森卓也編『歴史言語学の射程』	

1. 著者名 笹原 宏之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新星出版	5. 総ページ数 214
3. 書名 日本的漢字	

1. 著者名 笹原 宏之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 図書出版 モシヌンサラムドゥル	5. 総ページ数 301
3. 書名 漢字で見た日本	

1. 著者名 笹原 宏之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益財団法人 漢字検定協会	5. 総ページ数 19
3. 書名 日本漢字学会編『漢字学ことはじめ』	

1. 著者名 後藤 真、橋本 雄太、山田 太造、中村 覚、北本 朝展、天野 真志、関野 樹、鈴木 卓治、永崎 研宣、大河内 智之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 208
3. 書名 歴史情報学の教科書 歴史のデータが世界をひらく	

1. 著者名 吉村武彦・吉川真司・川尻秋生編 馬場基他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 324
3. 書名 シリーズ古代史をひらく2 「古代の都～なぜ都は動いたのか～」	

1. 著者名 上野誠・蜂飼耳・馬場基	4. 発行年 2019年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 126
3. 書名 万葉集であるく奈良	

1. 著者名 村上征勝・末代誠仁他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 832
3. 書名 文化情報学事典	

1. 著者名 瀬間正之編・笹原宏之・方国花他	4. 発行年 2020年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 112
3. 書名 「上代のことばと文字」入門	

1. 著者名 鈴木幸人(編著)・橋本雄他6名	4. 発行年 2019年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 296
3. 書名 かなしむ人間 人文学で問う生き方(北大文学研究院ライブラリ 17)	

1. 著者名 片峰茂編・木村直樹他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 長崎文献社	5. 総ページ数 162
3. 書名 長崎の岬 日本と世界はここで交わった	

1. 著者名 黄正建主編・鷹取祐司他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 上海古籍出版社	5. 総ページ数 -
3. 書名 『中国古文書学研究初編』	

1. 著者名 上野 誠・大浦 誠士・村田 右富実 編 井上幸他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 笠間書院	5. 総ページ数 244
3. 書名 万葉をヨム	

1. 著者名 佐藤信（監修）・新古代史の会（編）馬場基ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 262
3. 書名 『テーマで学ぶ日本古代史 社会史料編』	

1. 著者名 小口雅史（編）野尻忠ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 410
3. 書名 『古代東アジア史料論』	

1. 著者名 加藤朝胤・鈴木嘉吉・星野安治・池田藍子・青木敬・米川裕治・村上隆	4. 発行年 2021年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 152
3. 書名 『よみがえる白鳳の美 薬師寺東塔解体大修理全記録』	

1. 著者名 渡辺晃宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 新泉社	5. 総ページ数 96
3. 書名 『日本古代国家建設の舞台 平城宮』	

1. 著者名 加藤重広, 岡埜裕剛 (編) 笹原宏之ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 416
3. 書名 『日本語文字論の挑戦 表記・文字・文献を考えるための17章』	

1. 著者名 金文京 (編) 笹原宏之ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 文学通信	5. 総ページ数 450
3. 書名 『漢字を使った文化はどう広がっていたのか 東アジアの漢字漢文文化圏 東アジア文化講座2』	

1. 著者名 三舟隆之・馬場基編	4. 発行年 2021年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 303
3. 書名 『古代の食を再現する - みえてきた食事と生活習慣病』	

1. 著者名 芳澤元編/橋本雄ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 428
3. 書名 『室町文化の座標軸 : 遣明船時代の列島と文事』	

1. 著者名 橋本 雄	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 306
3. 書名 『再：くりかえず世界』	

1. 著者名 佐藤信編/桑田訓也ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 279
3. 書名 『古代史講義【氏族篇】』	

1. 著者名 日本漢字学会編/笹原宏之ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 花鳥社	5. 総ページ数 184
3. 書名 『漢字系文字の世界』 「日本製漢字の造字法 付 朝鮮（韓国）製漢字」ほか	

1. 著者名 増崎英明 編著 / 長崎大学地域文化研究会 著 木村直樹ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 九州大学出版会	5. 総ページ数 313
3. 書名 『今と昔の長崎に遊ぶ』（木村直樹 第3章「近世貿易都市長崎の特質を考える 尾曲り猫はどこからきたのか」）	

1. 著者名 上野誠・鉄野昌弘・村田右富実編/井上幸ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 角川書店	5. 総ページ数 456
3. 書名 『万葉集の基礎知識』	

1. 著者名 新古代史の会（編）馬場基、桑田訓也他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 288
3. 書名 人物で学ぶ日本古代史 2 奈良時代編	

1. 著者名 橋本素子、三笠景子（編）橋本雄他	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 444
3. 書名 茶の湯の歴史を問い直す：創られた伝説から真実へ	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>史的文字データベース連携検索システム【日本語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/</a>          史的文字データベース連携検索システム【英語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/en/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/en/</a>          史的文字データベース連携検索システム【中国語簡体字版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnh/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnh/</a>          史的文字データベース連携検索システム【中国語簡体字版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnk/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnk/</a>          史的文字データベース連携検索システム【韓国語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/kr/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/kr/</a>          史的文字データベース連携検索システム【日本語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/</a>          史的文字データベース連携検索システム【英語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/en/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/en/</a>          史的文字データベース連携検索システム【中国語簡体字版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnh/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnh/</a>          史的文字データベース連携検索システム【中国語簡体字版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnk/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/cnk/</a>          史的文字データベース連携検索システム【韓国語版】  <a href="https://mojiportal.nabunken.go.jp/kr/">https://mojiportal.nabunken.go.jp/kr/</a>          木簡庫  <a href="http://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/">http://mokkanko.nabunken.go.jp/ja/</a>          木簡庫（英語版・韓国語版・中国語簡体字版・中国語繁体字版）</p>
--

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中川 正樹  (Nakagawa Masaki)  (10126295)	東京農工大学・学内共同利用施設等・特任教授   (12605)	
研究分担者	久留島 典子  (Kurushima Noriko)  (70143534)	神奈川大学・国際日本学部・教授   (32702)	
研究分担者	高田 智和  (Takada Tomokazu)  (90415612)	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所・研究系・教授   (62618)	
研究分担者	末代 誠仁  (Kitadai Akihito)  (00401456)	桜美林大学・リベラルアーツ学群・准教授   (32605)	
研究分担者	山本 和明  (Yamamoto Kazuaki)  (90249433)	国文学研究資料館・研究部・教授   (62608)	
研究分担者	山田 太造  (Yamada Taizo)  (70413937)	東京大学・史料編纂所・准教授   (12601)	
研究分担者	笹原 宏之  (Sasahara Hiroyuki)  (80269505)	早稲田大学・社会科学総合学院・教授   (32689)	
研究分担者	大山 航  (Ohyama Wataru)  (10324550)	東京電機大学・システムデザイン工学部・教授   (32657)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 覚 (Nakamura Satoru)  (80802743)	東京大学・史料編纂所・助教  (12601)	
研究分担者	渡辺 晃宏 (Watanabe Akihiro)  (30212319)	奈良大学・文学部・教授  (34603)	
研究分担者	桑田 訓也 (Kuwata Kuniya)  (50568764)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・都城発掘調査部・主任研究員  (84604)	
研究分担者	山本 祥隆 (Yamamoto Yoshitaka)  (50610804)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・都城発掘調査部・主任研究員  (84604)	
研究分担者	高田 祐一 (Takata Yuichi)  (50708576)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・企画調整部・研究員  (84604)	
研究分担者	星野 安治 (Hoshino Yasuharu)  (50644481)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・埋蔵文化財センター・室長  (84604)	
研究分担者	上楯 英之 (Uesugi Hideyuki)  (50600409)	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所・埋蔵文化財センター・研究員  (84604)	
研究分担者	畑野 吉則 (Hatano Yoshinori)  (50835478)	立命館大学・衣笠総合研究機構・研究員  (34315)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------